

教育研究データ			
1. 氏名	今 崎 浩		
2. 生年月	1962年11月5日		
3. 取得学位	修士(教育学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年月	概要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2015年4月 ～現在 2015年4月 ～現在	① ICT(ユニバーサル passport・Teams 等) を活用して、双方向性のある授業、事前・事後学修の実施に取り組み、学生の主体的な学修を促している。 ② レポート、学習指導案、模擬授業等にルーブリックを用いた評価を取り入れることによって、学生に学修の見通しと到達度をつかませ、学修意欲を高めようとしている。	
(2) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2013年5月 ～現在 2022年 ～2023年 2017年～ 2023年	① 広島県内の各種指定校で指導・助言、講演を行っている。 ② 三次市授業力向上研修会で講師を務めている。(毎年3回) ③ 「算数科教育法」「特別活動指導法」「生徒・進路指導論Ⅰ」「教科の学び(算数)」が授業評価アンケートにおいて高い評価を得た授業として顕彰され、授業公開した。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の 年月	発行所
①わかる算数科指導法 改訂版	共著	2018. 3	東洋館出版
②新・教職課程演習 13巻初等算数科	共著	2021. 4	協同出版
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の 年月	掲載紙および巻/号、頁
① 算数科教科書の図形領域にみられる記述の特徴—図形の性質を導くための根拠と論理に焦点を当てて—	単著	2002. 6	日本数学教育学会誌 2002 第84巻第6号(pp, 2-10)
② 算数科学習における数学史活用の今日的意義と実践上の課題に関する	単著	2020. 3	広島文教教育第34巻 2019, pp. 25-33

する考察			
③ 算数科教科書に見られる「数学的な見方・考え方」の記述の特徴	単著	2022. 3	広島文教教育第 36 卷 2021, pp. 1-9
③ 教育実習事前指導における模擬授業のためのループリックの改善	単著	2024. 3	広島文教大学教職センターワークショップ 2024 年第 12 号. pp1-10.
⑥ いじめ問題解決に向けて学校は何をすべきか～「いじめの定義」に焦点をあてて～	単著	2025. 3	広島文教大学教職センターワークショップ 2025 年第 13 号. pp1-9.
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等
①特別公開授業「ひらいたらどんなかたちになるかな」	2012 年 10 月		第 28 回小学校算数教育研究全国(広島)大会
②「授業改善を促す小中連携・一貫教育」	2015 年 9 月		広島県立教育センター
(4) 所属学会			
① 日本数学教育学会			
② 全国数学教育学会			
③ 日本生徒指導学会			
④ 日本特別活動学会			